

サークル紹介

サッカー部

全国大会出場を目指して

教育学部教科教育学科三年

神戸 良博

我が体育会サッカー部は、現在、部員約五十名・マネージャー六名で、平日は東千田キャンパスと西条キャンパスに分かれて練習、土日は合同練習をしています。全員で練習する機会が少なく、問題の残る期間でしたが、今年の四月には新入部員も迎え、総合科学部の移転にも伴い、部員のほとんどが西条キャンパスでの練習に参加できるようになります。



今まで以上に充実した練習ができることを期待しています。さらに昨秋、中国の北京体育学院から王民享コーチを招き、レベル向上を目指してがんばっています。(王先生は中国語と露語を話されるので、部員はポディラングゲージでコミュニケーションをとり、指導を受けています)

昨年は、惜しくも全国大会へ出場することはできませんでした。しかし、中国五大学対抗戦では四連覇を果たし、来年度に向けての意欲は満々です。現在は、「悲観的に準備して、楽観的に戦う」

をスローガンに、四月から始まる総理大臣杯を目標にがんばっています。

Jリーグの開幕と共にサッカーが注目されはじめた今、広島大学体育会サッカー部も、全国大会出場を目指して、また、地域サッカーの向上を願って頑張っていきたいと思えます。

山岳部

フリークライミング

教育学部心理学科一年

常田 修一

92年度の山岳部の活動は、夏山登山、沢登り(山中の川の中を歩いたり、時には泳いだりして行くもの)、冬山登山、フリークライミングといったものである。この中のフリークライミングの紹介をしようと思う。



フリークライミングとはスポーツ化された岩登りである。主として九十度ぐらいの壁を登り、クライミング用の靴を使う。この靴は相当きわどい所でも登れる靴で、五ミリでつぱりがあればそこに十分に立てるのである。そのようなきわどい壁を登る為、落ちることもあるので安全対策がとられており、落ちてもせいぜい三メートル程しか落ちないようになつており、ケガを負うことも少ない。私は何回か落ちたことがあるが、ケガらしいケガは負ったことがない。フリークライミングの面白さは、自分がすごいことをしていると錯覚してしまうところにあるのかもしれない。(実際は大したことはないのだが)目の前にそびえ立つ壁を三メートルぐらゐ自分の体だけで登ってしまうと、俺はすごい奴なんだと思ふこむのである。又、適度な難しさやスリルがあつて、それを乗り越えて登りきった時の気分は非常に爽快でもある。